

付託事件等審査結果報告

令和 2 年 1 2 月 2 4 日

薩摩川内市議会総務文教委員会
委員長 中島由美子

1 委員会の開催日

1 2 月 1 6 日

2 付託事件及び審査結果

- (1) 議案第 1 5 2 号 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (2) 議案第 1 9 2 号 薩摩川内市セントピアの指定管理者の指定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (3) 議案第 1 9 3 号 財産の取得について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (4) 議案第 1 9 4 号 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業（学校 I C T 環境整備工事）請負契約の変更について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (5) 陳情第 6 号 安心して学びあえる教育環境のための少人数学級を求める意見書提出についての陳情書

本陳情については、委員から、小中学校における少人数学級による感染拡大防止に関する質疑があり、当局から、「密を避けるためには少人数がよいと考えられるが、現段階では児童生徒同士の間隔が少なくとも 1 メートル確保されている」旨の答弁があった。また、委員から、20 人学級による児童生徒の発達、学力の向上に関する質疑があり、「少人数学級については、教員の目が届くことや児童生徒一人当たりにかかる時間が長くなる。また、人数が多い場合は、集団で意見を交わすことができることから、それぞれにメリットがある」旨の答弁があった。さらに、20 人学級となった場合の対応について質疑があり、「教室数を考慮すると、通学区域の変更等をしない限りは、直ちに実現することは難しい学校区域もある」旨の答弁があった。

その後、本陳情の取扱いについて、採決を求める意見があったことから討論に入った。

討論においては、「新型コロナウイルス感染症対策としての少人数学級については、現状、小中学校において、十分な感染予防対策がとられている。また、成長と発達のための少人数学級については、先行研究において必ずしもプラスの効果が表れるとは言い切れない」、「学校の規模、教員数等を考慮すると現状では、小中学校における対応は難しい」という反対討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定し

た。

3 所管事務の調査結果

各課所の事務について所管事務調査を行い、調査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

- (1) 避難所の見直しについては、市民が避難する際に支障がないよう作業スケジュールを定めた上で、取り組まれない。
- (2) 西之表市・薩摩川内市甑島移住者交流会については、歴史的な背景を踏まえ、継承していくべき事業と考えられる。さらに今後は、姉妹都市交流としての可能性についても検討されたい。
- (3) 甑島地域においては、甑大橋の開通を契機として、旧4村の異なる歴史や文化への理解を深め、一層一体感の醸成が図られるよう引き続き取り組まれない。